

「保育者養成における表現活動について（１）」

多保田 治 江
田 辺 圭 子

I. はじめに

平成元年改訂し施行された「幼稚園教育要領」、平成2年改訂し施行された「保育所保育指針」によって、領域が再編され名称も変更され、保育の新しい方向が示された。保育者養成校の役割が間接的に子どもへの働きかけとなるだけに、カリキュラムの重要性を感じるとともに子どもに対して適切な援助のできる学生を育成するという使命があると思われる。

本学では、保育内容に関わる科目を保育内容研究Ⅰ「子どもの健康」・保育内容研究Ⅱ「子どもと環境」・保育内容研究Ⅲ「子どもの言葉」・保育内容研究Ⅳ「子どもの表現活動」と称している。音楽と動きによる表現は、保育内容に関する科目の中で保育内容研究Ⅳ「子どもの表現活動」で取り扱っている。1994年より様々な側面を持つこの科目を音楽の多保田と体育の田辺がチームティーチングで担当することとなった。子どもに豊かな感性や表現を育てるには、自然環境・社会環境・家庭環境など子どもを取り巻く環境の中で保育者も人的環境として重要な役割を果たしている。子どもの感情や経験を豊かに表現する機会を作るには、保育者自らの豊かな感性や表現力が必要とされる。それゆえに、将来保育者になろうと志す保育科の学生に

- 1 心を動かす出来事や音楽による心の揺さぶりを受け止め、多様な表現ができるようになって欲しい
- 2 子どもの表現に共感し応えることができる目を持って欲しい

とわれわれは願うものである。

本論文では、多保田と田辺のチームティーチングである「音楽と動きによる表現」の授業の試みに加え、現状に合った教育内容、方法を模索して行きたい。

II. 音楽と動きによる表現

保育内容研究Ⅳ「子どもの表現活動」は2年間通して開講される科目であるが、「音による表現」・「音楽と動きによる表現」・「言葉による表現」・「造形による表現」に分けて担当している。そのうち「音楽と動きによる表現」は一年次に半期（約13回）・45分授業で行っている。この授業の特徴は授業内容と授業を受けての感想、教師に伝えたいことをレポートし毎回提出させていることである。

「音楽と動きによる表現」についてペインターとアストン (J. Paynter・P. Aston)¹⁾は、「動きのなかで行うことは、ほとんど全部音楽に還元することができる。異なった高さで動きをすれば異なった高さの音、動きの速さは音楽のテンポ、動き方によって音色・強弱関係・音楽の持続

多保田 治 江 田 辺 圭 子

保育内容研究Ⅳ 「子どもの表現活動」 単元計画（1期分）

回	ね ら い	課 題	内 容	
			☆あそびうた ★わらべうた	◇移動しない動き ◆即時反応
1	○身体を確認する	○オリエンテーション ・授業の流れを知り、表現について理解する ○リズムカルに動く ・自分の周りのリズムを知る ・リズムに同期して身体を動かす	☆みんな音楽家	◆合図で手拍子を止める ◆音の高低を拍手で表す ◆緊張と弛緩を身体で感じる
2		○動きの三要素Ⅰ ・テンポ・ダイナミックス・スペースの相互関係を知る	☆小さいにわ ☆一匹の野ねずみ	◆指示されたテンポを手拍子で答える
3		○動きの三要素Ⅱ ・テンポ・ダイナミックス・スペースの相互関係を知る ○音のイメージ化 ・ボディサウンドを作る	☆ホーキ ポーキ ☆ポン・チョン・ピン	◇柔らかく手を動かす ◆教師の模倣表現
4		○音楽と身体の一体化Ⅰ ・様々な曲を聴いて表現する ○音楽でコミュニケーションⅠ	★だるまさんころんだ	◇拍手や足踏みを隣にタイミングよく送る ◆友達の手の動きを模倣表現
5		○音楽と身体の一体化Ⅱ ・様々な曲を聴いて表現する	☆手と手と手と (手のオブジェを作る) ★ひらいたひらいた	
6		○音楽と身体の一体化Ⅲ ・様々な曲を聴いて表現する ・グループから一人のずつの表現に移行する	☆チャチャチャはすばらしい	◆太鼓のリズムを聞き取り、身体を叩いて表わす
7	○子どもの表現をどのように引き出すか	○音楽と身体の一体化Ⅳ ・表現を生み出す ○音楽でコミュニケーションⅡ ○イメージの広げ方Ⅰ ・豆腐マンの話※1	☆アブラハムの子 ★なべなべそこぬけ	◆太鼓が強く叩かれた時、開脚ジャンプする
8	○子どもの表現をどのように引き出すか ○与えられた素材で作品作り	○イメージの広げ方Ⅱ グループ別作品発表 ・青い透明のビニール袋 ○ことばかけの工夫		
9	○子どもの表現をどのように引き出すか ○作品作り	○イメージの広げ方Ⅱ グループ別作品発表 ・題材を決め、デッサンする音や用いる物に工夫する ○客観的に自分の表現を見るⅠ ○模倣表現の意味		
10	○子どもの表現をどのように引き出すか ○子どもの表現への援助の仕方	○子どもに適した題材の選択Ⅰ ○客観的に自分の表現を見るⅡ ○集団で行う表現活動の可能性	☆もちもちおもち ★あんたがたどこさ	
11		○子どもに適した題材の選択Ⅱ ○一人で行う表現活動の可能性	☆だるまさん	◇「ラララオレ！」回転してポーズするリーダーの模倣表現並びに反対のポーズ
12		○子どもに適した題材の選択Ⅲ	☆ホホホ!	◇スイングの表現をシーソー、ボートを通して知る
13		○作品を見る視点を理解する		

※1 明治時代 本学付属幼稚園でミス・ポータが行った表現活動

「保育者養成における表現活動について(1)」

内 容		音 楽	ア ド バ イ ス
<input type="checkbox"/> 移動する動き	ストーリー／他		・姿勢に注意する
<input type="checkbox"/> 歩く、走る、スキップする			
<input type="checkbox"/> 手の動きを加えて歩く、スキップするⅠ <input type="checkbox"/> ピアノの合図で方向転換しながら歩く、走る、スキップする			・あそびうたは自然に動きの三要素を知ることができる
<input type="checkbox"/> 手の動きを加えて歩く、スキップするⅡ	ディズニー体操	サン・サーンズ 動物の謝肉祭より「白鳥」を聴くⅠ	・柔らかく手を動かすために肩から動かすように意識する
<input type="checkbox"/> 歩きながら合図に従い出会った人とコミュニケーションをとる(手合わせ・表情など)		サン・サーンズ 動物の謝肉祭より「白鳥」をスカーフを用いて表現Ⅱ	・コミュニケーションは曖昧な表現では伝わりにくい
	忍者の修業 忍び足・身体を上下して走る。片足立ち・壁や床にくっつく	サン・サーンズ 動物の謝肉祭より「白鳥」をスカーフを用いて表現Ⅲ	・表そうとするムードがなければ、表現は始まらない
<input type="checkbox"/> 雨・春風・怒り・喜び・動物を表現する		サン・サーンズ 動物の謝肉祭より「白鳥」をスカーフを用いて表現Ⅳ	・周りの環境を注意深く見つめよう。
<input type="checkbox"/> ケン・パーをフープを用いて行う <input type="checkbox"/> 様々なテンポで前後左右に歩く	兎になりたい象 木・風・鳥・蝶・兎・象 聞き取り パーカッションで演奏されたダイナミックスを曲線で表す		・わらべうたは様々な身体が動くことを知るよい題材である
<input type="checkbox"/> ぬいぐるみの犬の周りを様々なことばかけに従い歩く <input type="checkbox"/> ペアで前後になって歩き、前の人振り返ると即座にポーズする	グループ別作品発表Ⅰ 青い透明のビニール袋を用いて表現する (音楽など何を使用してもよい)		・作品作りで体験したことを大切にしよう
<input type="checkbox"/> ペアになり、一方が蛇や鶏になりもう一人の周りを動く、途中で交代する。鶏の時は鳴き声もつける	グループ別作品発表Ⅱ 表現のために必要な物や効果音もつけて発表する (ビデオ撮影) ビデオ録画を鑑賞Ⅰ		・子どもの人数と表現活動の場所について
	ビデオ録画を鑑賞Ⅱ あやつり人形 ペアになり操る役と人形の役になる 庭の昆虫たち いも虫・だんご虫・毛虫・百足・蝶・木	サンバ を聴くⅠ	・音楽に合せる表現は、音楽を聴くことから
	ボディサウンド 身体で作れる音を探る (叩く、擦る、弾く)	サンバ を踊るⅡ	・音を注意深く聴く
	ペーパーサウンド 紙で作れる音を探る (振る、叩く、擦る、弾く)	サンバ 手作り楽器や衣装を着て踊る 様々な音楽※2 を聴く	・興味や関心は新しい表現を生む
	グループ別作品発表Ⅲ (ビデオ撮影) ビデオ録画を鑑賞Ⅲ	ブラジル 手作り楽器や衣装を着て踊るⅣ (ビデオ撮影)	・友達の表現を見て、良い点、工夫している点を見つける

※2

- ・砂漠のバラ
 - ・少女の願い
 - ・カーニバル
- グループごとに、選択した曲のテープを渡し、次週発表

をおのずと決める」と述べている。この「音楽と動きによる表現」の単元計画作成にあたっては単なるビート（拍）の把握に止まらず、学生の内在する音楽性を引き出し、育て音楽に対する感受性と創造力を養うように「音楽と動きによる表現」を様々な体験を通して行うように心がけた。

身体を用いた表現活動として、子どもには、決められた型や動作の振付ダンスではなく、子どもの生活経験に基づく感情や印象を全身的な身体の動きで表現する活動が必要となる。そのため指導者（保育者）は子ども達がのびのびと自由に表現できる場を用意し、子どもの創造力を高めるように働きかけていく必要がある。²⁾³⁾⁴⁾将来保育者となる本学保育科の学生たちにも、このような子どもの創作的な試みに対する新しい能力を発展させられるような、指導者（保育者）としての能力が求められるであろう。

大学入学までに、学生たちは身体を用いた表現を体育授業「創作ダンス」として学校教育の場で体験してきている。しかし、金沢市の大学生（本学学生含む）に対するダンスに関するアンケート⁵⁾の結果では、創作ダンスは、ジャズダンス、エアロビクスダンス、フォークダンス等他のダンスに比べ、踊りたいという要望、欲求の最も低いダンスであり、学生たちは身体を用いて自らを表現する芸術性よりも手軽で格好良くリズムカルに踊れるものを求める傾向にある。本学保育科学生たちに対して、身体を用いた表現活動を指導していく上での課題は、単に音に合わせて身体を動かしたいという運動欲求の中に、自らが感じたことを表す活動をいかに取り入れていくかということであろう。それには十分な動機づけが必要となる。そこで今回は、前半に四肢の動きへの気づきを行った（「子どもの表現活動」単元計画表-1、2、3、4回目）後、指導者が創ったストーリーにそって、身体表現をする事にした。（「子どもの表現活動」単元計画表-5、6、7回目）また、1つ素材（ビニール袋）を与え、素材の工夫による「みたて」に身体運動を加えるという課題を提示し、グループ毎に発表させた。（「子どもの表現活動」単元計画表8、9回目）

ストーリーによる身体表現に対する学生たちの感想について、紙面の関係上今回提示することはしないが、最も多い感想としては「楽しいが照れくさくてなかなかできない。」「疲れる。」であり、ストーリーの中に自らがとけ込んで表現するまでには至らないことを示した。

7回目の授業の中で、1つの素材を与え、その素材を効果的に用いた身体表現を行うという課題を提示し、8回目の授業グループ毎に発表をさせたが、内容に工夫の見られないものが多かったために、9回目の授業で再度発表させることにした。その内容は資料1に示した通りであるが、各々のグループが工夫をこらした、とてもおもしろい作品となった。8回目と比べ9回目に大きく変わった理由として、ビニール袋が出す特徴ある音を作品の中の効果音として有効に用いていること。教師が素材の例として提示した青いビニール袋だけでなく、いろいろな色のビニールテープを用いたことなど、素材への気づきによるところが大きい。これは、8回目に他のグループの作品を見ることによって作品作りへの動機づけができたためではないかと思われる。

9回目の作品は、歌に振付をした「おはなしゆびさん」のグループの他は、どのグループもストーリーを自分たちでつくり、ストーリーにそった動きとビニール袋を工夫したものであった。また、どのグループもストーリーにそった会話をいれており、身体表現のみでなく、言葉に頼る表現になるため、動きが全体的に小さくなる傾向がみられた。しかし、自分たちで何かを表現することのおもしろさへの動機づけになったのではないかと思われる。今回の発表をさらに発展させ、言葉によらない身体を用いたダイナミックな表現へとつなげていきたいものである。

「保育者養成における表現活動について(1)」

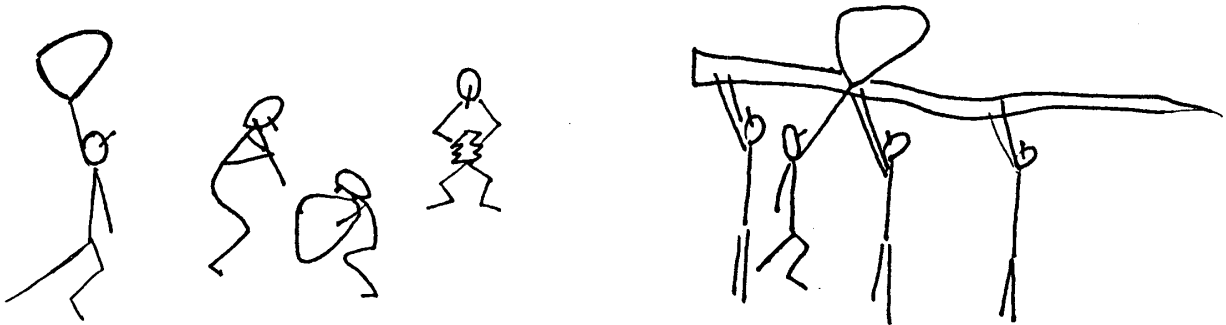
資料1 保育科1年生 「子どもの表現」授業 作品発表プログラム

1. シャボン玉

ビニール袋をシャボン玉に見立てている。

シャボン玉が割れるところをビニール袋をたたき割ることで表現。

小さいビニール袋(シャボン玉)をとばした後、大きいビニール袋(シャボン玉)が登場し、大きいシャボン玉が空を飛ぶというストーリー。空を飛んでいるところを細長く切った青いビニール袋を持ち、シャボン玉の周りを歩くことによって表現。



2. 花火

「打ち上げ花火しよう」

てをつなぎ、円になる。

「ヒューッ。」と声を出しながら立ち上がる。

「バン。」と言って周りに飛び散り、倒れる。



「ヒューッ」

「バン」

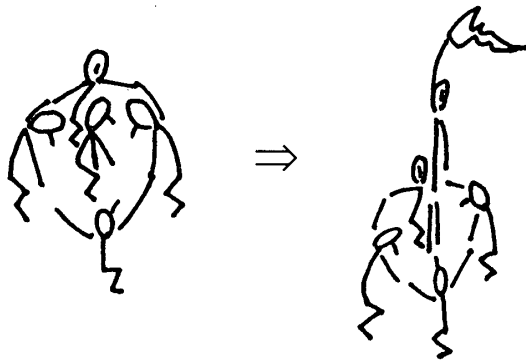
「ねずみ花火しよう。」

2人組になり、姿勢を低くしてぐるぐる回る。



「パラシュートしよう。」

円の中心の人物がハンカチを持って立ち上がる。



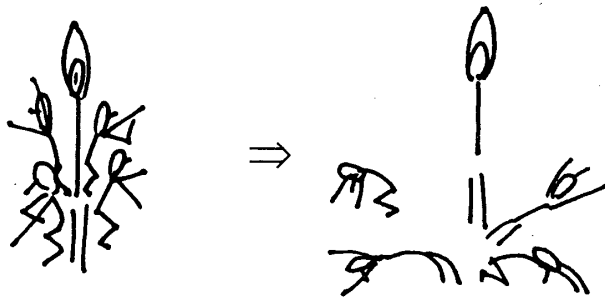
「線香花火しよう。」

円の中心に1名立たせ、その周りを数名の学生が円の外を向いてしゃがむ。

(円の中心にいる学生は線香花火のひも(棒)、周りの学生は火花を表現。)

円の周りの学生は腕を曲げ伸ばしすることで火花の強さを表す。

火花がだんだん弱くなって、周りの学生がうつ向きに倒れて終わり。



「保育者養成における表現活動について(1)」

3. 噴火

ネズミ色のビニール袋をかぶった学生を円の中心に置き、その周りを数名の学生が囲む。周りの学生は縦長に裂いた黒いビニール袋と赤い布を片手に各々持つ。

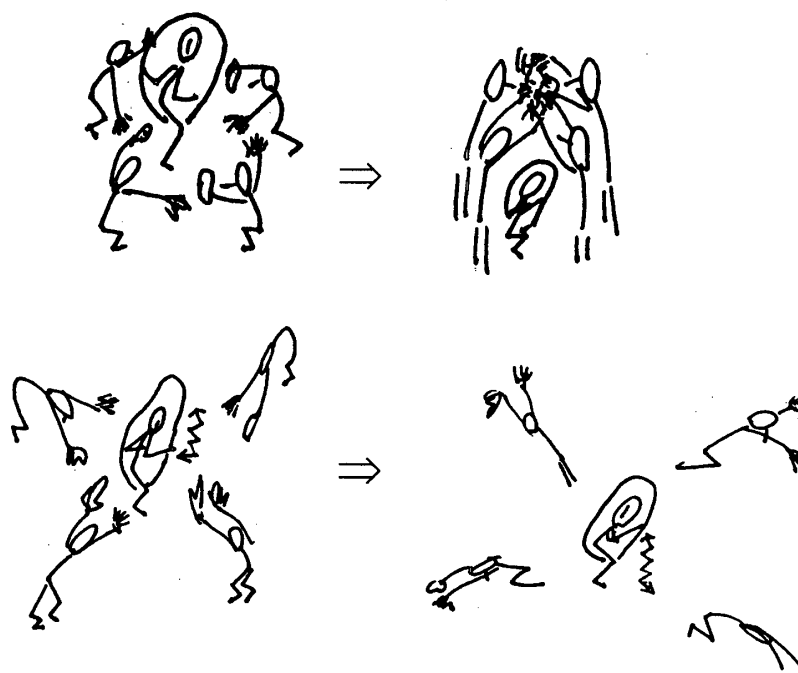
周りの学生が立ち上がりビニール袋と赤い布を振る。

周りの学生がビニール袋と赤い布を振りながらしゃがむと中心の学生はもぞもぞしながら立ち上がる。

中心の学生と周りの学生が交互に立つ、座るの動作を繰り返す、中心の学生の動作を徐々に大きくしていく。(マグマが大きくなる場所を表現)

周りの学生が円の中心を向いたまま腰を徐々に低くしながら円を大きくして最後に倒れる。(マグマが流れる場所を表現。)

中心の学生がもぞもぞしながら立ち上がり小さくなる。



4. おはなしゆびさん

全員が横一列に並ぶ。

左側の2名の学生が歌を歌う。

残りの5名は後ろを向いたまま腰を振って待つ。

「このゆび○○さん。」と歌う学生の歌にあわせて後ろを向いていた学生が順番に正面を向きおとうさんから赤ちゃんまで各々の動作をする。



「このゆび兄さん大きい兄さん。オス、オス、オス、えへへへへへっ。おーはなしする。」

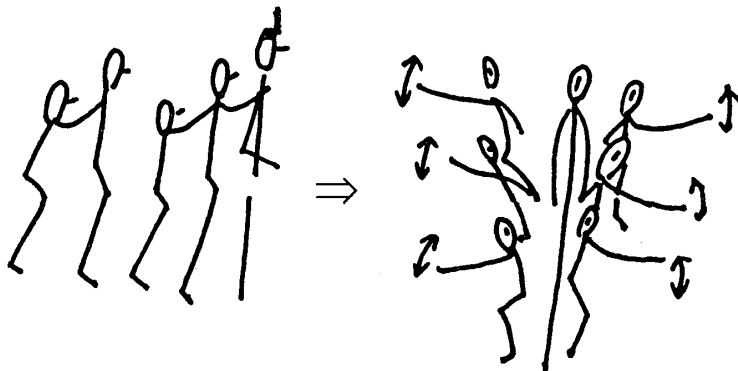
5. あおむし

一列に並び、先頭はあおむしの顔を書いたお面をかぶる。

先頭から順に時間を少しづつずらしながらしゃがんでいくことで、あおむしの蛇腹を表現する。

全員がしゃがみ、先頭が持っている紙でできた葉っぱを一枚ずつ後ろに「むしゃむしゃむしゃ」と声をだしながら送っていく。最後の学生は紙をにぎり斜め後ろにポイと捨てる。(青虫のフン)

中央に立っている学生の左右に階段状に並び、外側の手をひらひらさせ、蝶の羽を表現。



6. ポップコーン

全員が両腕を上げ円の外側を向いて立つ。このとき全員の指先を円の中心に集め、ロケット状の形を作る。(とうもろこしを表現)

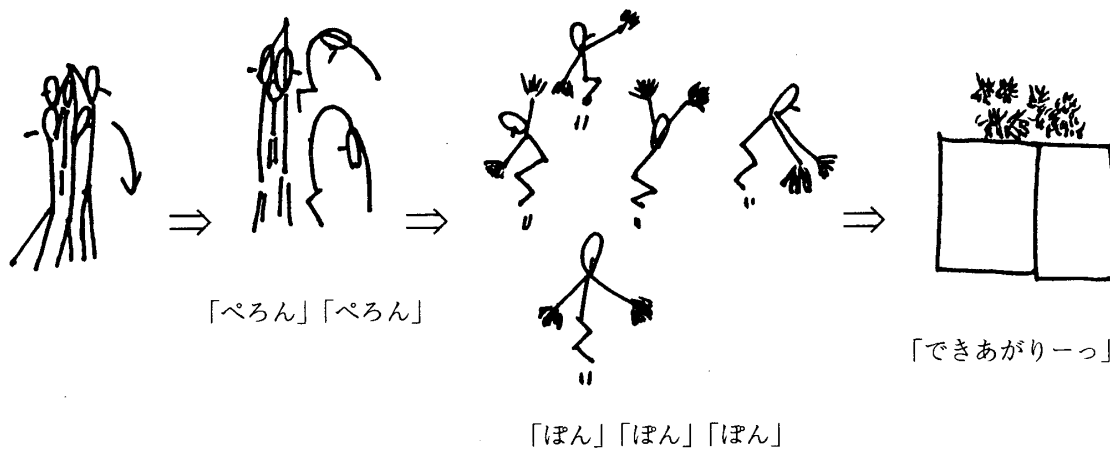
「ぺろん」と言いながら一人ずつしゃがんでいく。

全員しゃがみ終わったら、1人ずつあちこちに飛び出す。

左右の手に1つずつ持っていたティッシュでできたボンポンを頭上に上げ、「ボン、ボン。」と言いながら、あちこちにしゃがみ飛びをする。(鍋ではじけるポップコーンを表現)

飛ぶ速さをだんだんはやくする。

新聞紙2枚を縦に並べ、ボンポンだけを集めて出す。(ポップコーンが新聞紙からあふれて出しているところを表現)



「保育者養成における表現活動について(1)」

7. あやつり人形

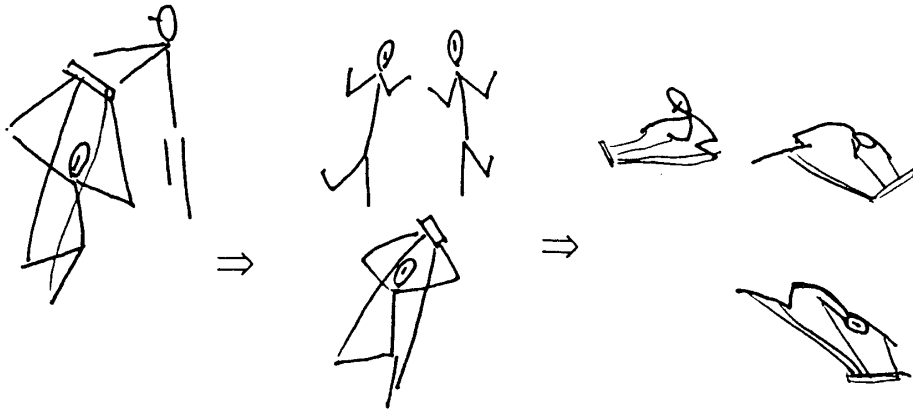
両手両足の先に細く切った新聞紙の一方をつけ、もう一方は木の棒につける。

両手両足に新聞紙を付けているのが人形で、棒を持っているのが人形使いという設定。

ゆったりしたピアノ伴奏の曲にあわせて操り人形の手足を動かす。人形使いも人形の動きに合わせて身体を左右に振る。

ピアノ伴奏の音楽が明るく弾んだ感じになり、人形3体の内2が体新聞紙を手足から外し、一人で踊り出す。

ピアノ伴奏の音楽が最初に戻り、人形たちはへたりと地面に倒れる。



8. 火事

「燃えるゴミ」と書いた、黒いビニール袋を1枚につないだ大きなビニール布の後ろに隠れている。

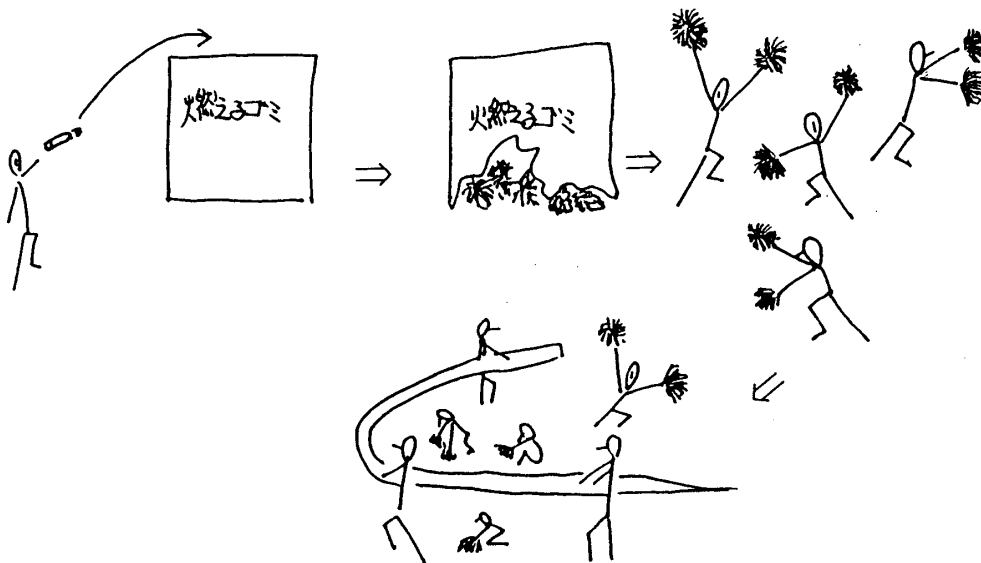
一人がタバコをその中にポイと捨てる。

後ろに隠れていた学生は先を赤いビニールのポンポンを下の方からゆすり、「燃えるゴミ」と書いたビニール布を徐々に燃やす。

全て燃えてしまった後、ポンポンを持って方々に走り回る。

青い帯状のビニールを持った学生が「あっ、火事だ。」と言った後「ウーカンカンカン。」と言いながらポンポンを持った学生をビニールで取り囲む。

ポンポンを持った学生が小さくなり火事を消したことを表現。



「ウーッカンカンカン」

III. 保育科らしさ

学生のレポートの中でよく「授業での課題が保育科らしい」など「〇〇は保育科らしい」という言葉が目についた。どのように科の独自性を感じているのか意識調査を行った。

保育科らしさについての意識調査

・対象 保育科一年生（115名）・二年生（109名）

・実施 1996年10月

「あなたが保育科の学生らしいと思う点は何か」

○「髪・服装について」

	1	2	合計
1 活動的な服を着る (ズボン, キュロット)	60	59	119
2 服装が派手でない	40	48	88
3 かわいい服を着る (女の子らしい)	10	23	33
4 明るい・カラフルな服を着る	10	18	28
5 化粧が薄い	2	12	14
6 個性的な服を着る	5	7	12
7 おしゃれな学生が多い	0	9	9
8 キャラクターのついた服を着る	2	6	8
9 髪を三編みや2つに結ぶ	0	7	7
10 髪を染めていない	2	4	6

「活動的な服を着る」と回答した学生が過半数を占めた。保育科の授業が講義ばかりではなく実技を伴うものもあるためであろう。次に「服装が派手でない」と回答した学生が多かった。

○「話し方」

	1	2	合計
1 声大きい	32	58	90
2 分かりやすく話す	36	44	80
3 優しく話す	23	37	60
4 幼児言葉を使う	11	17	28
5 身振り・手振りをつけて話す	7	15	22
6 話し声が高音である	5	1	13
7 相手を気づかって話す	0	6	6
8 声を変えて話す	2	3	5
9 「可愛い」が口癖である	0	4	4
10 語頭に「お」がつく	0	3	3

「保育者養成における表現活動について(1)」

一年生では「分かりやすく話す」、二年生では「声大きい」と1位の回答が異なった。「相手を気づかって話す」・「語頭に“お”がつく」など、教育実習・保育実習での経験から培ったと思われる回答もみられた。

○「動作・行動」

	1	2	合計
1 よく歌う	56	45	101
2 元気に活発に行動する	27	69	96
3 よく踊る	33	27	60
4 ジェスチャーがオーバーである	23	22	45
5 クラスの仲間意識が強く一致団結して行動する	9	30	39
6 可愛い物に目がない(キャラクターグッズなど)	7	27	34
7 子どもを見ると近づき、表情が変わる	12	14	26
8 人づきあいが良い	11	14	25
9 感受性が豊かである	5	9	14
10 リズムに乗るのが得意である	5	4	9

1位「よく歌う」は一年生・二年生に共通して回答が多かった。しかし、2位「元気に活発に行動する」は教育実習・保育実習後の二年生に比べ一年生の回答は極端に少なかった。3位「よく踊る」や4位「ジェスチャーがオーバーである」と意識している点は、1位「よく歌う」と同様、表現活動を円滑にする素地を持っていると思われる。

保育科ではクラス全員で企画する催し、授業におけるグループ単位での発表、音楽II(器楽)で行われるグループレッスンなどから「クラスの仲間意識が強く一致団結して行動する」や「人づきあいが良い」の回答も多い。

IV. 創造的表現へのアプローチ

感じたまま、思うがままに表現することを出発点に「表現することは楽しい」、「表現することは面白い」ということに気づき、「またやってみよう」という心情を育てることは大切である。しかし、この出発点の見直しが必要ではないかと思われる。なぜならばこの豊富な社会に育っている学生は「気づく」ことに欠ける傾向があると思うからである。

そこで、一つの試みとして1996年一年生夏休み課題として「ボディサウンドを見つけてくること」とした。様々な音が周りあることに気づくことが大切であるし、「聴く力」を高めることによって音に関する感性を高めることができる。この能力は「音楽と動きによる表現」に欠かせない能力である。

ボディサウンドとは、身体の様々な部分を叩く・擦る・弾くなどの方法から音を発し、その音がどう聞こえたか探ることである。その結果、筆者の指定した10種類の音の出し方に加え学生が144種類のボディサウンドを見つけた。

※ □ はくりかえしを意味する

ボディアクション (指定回答) 見つけた音

1 両掌を高い位置で叩く

- ①パン80 ②パチ7 ③パチン・ピン5 ⑤タン・パチ4 ⑦ペン2
⑧パピ・バン・ピシャ・ピシャン・ピチ・ピパン・ベチン・ボン1

2 両掌を低い位置で叩く

- ①パン28 ②ボン26 ③バン12 ④ペン10 ⑤タン・パチ6 ⑦トン4
⑧パチ3 ⑨ペチ・パチン・タッ・パチン・パシ2
⑭キュ・ゴン・パッ・パシヤン・パタ・バビ・パフ・ピン・ポチ・ボン1

3 人差指・中指で掌を叩く

- ①ペン26 ②ベチ15 ③トン・ピシ7 ⑤ピチ・ピン6 ⑦パン・ボン5
⑧タン・ベチン4 ⑩パシ・パチ・ペツ3 ⑬チッ・ピッ・ピタ・ピチ・ペシ2
⑯タッ・テッ・テン・パッ・ピシャ・ピタン・ブン・ペキン・ヘン・ポシ・ポッ1

4 人差指・中指の指先で掌を叩く

- ①トン26 ②ベチ21 ③ボン6 ④トゥ・ピン5 ⑥タン・テッ・ピチ4
⑨チッ3 ⑩コン・タッ・ツン・テン・トゥ・ペン・ペン2
⑱カツ・カチ・コッ・ゴツ・サク・サッ・ソ・ツトン・ツョ・ドス・トチ・パシ
パッ・ピシ・ピタ・ピタン・プッ・ペサ・ペシャ・ベチン・ペン・ポス・ボン1

5 両掌を擦る

- ①シャカ² 15 ②シュ² 11 ③カサ² 10 ④シャ²・シュワ² 7 ⑥ショワ² 5
⑦サ²・シャワ²・シャリ²・シュリ² 4 ⑪スツ²・シャシュ・シュビ² 3
⑭サク²・スリ²・スル²・シ²・シエル²・シャコ²・シュル²・ワシャ²・ワサ² 2
⑳キュ²・コシヨ²・サリ²・サラ²・サワ²・シコ²・シャコ²・シャツ²・シャラ²
シャリショリ・シュロ²・シヨ²・シヨリ²・スイ²・ヒュル²・フィヨ²・メシャ² 1

6. 中指と親指を擦り鳴らす

- ①パチン34 ②ピン10 ③パチ6 ④スツ5 ⑤パキ4 ⑥コン・ベチン3
⑧カチッ・スリ・シュ・タン・ティン・トン・パン・ピチ・ピチン・ペン2
⑱カッ・カシャ・カチン・キュシ・キョロ・コキン・コロソ・コス・スカ・スパン
チュッ・ティッ・パカン・パコッ・パッ・ピ・ピキン・ピシ・プカチ・プシ
プチ・ペシッ・ペシン・ペチ・ベチン・ペリッ・ペン・ホスッ・ポチン・ボン1

7 掌で膝を叩く

- ①パン19 ②パチ11 ③ボン10 ④ペン9 ⑤タン7 ⑥バン6 ⑦トン・ペシ5 ⑨ボン4
⑩パチ・ベチン3 ⑫コン・パチ・ピチン・ピタ・ベチ・ベチン2
⑯ゴン・タ・チャ・テン・ドシ・トゥ・ドン・パコ・パシ・パッ・パボン・ピシ・ピシン
ピチ・ピチコン・ピン・ペシヤ・ベチャ・ベチン・ペトン・ポスン1

8 強く足で床を踏み鳴らす

- ①ドン70 ②ダン17 ③ドス4 ④ゴン・テン・ドスン・トン・バン・ボン2
⑩グワン・ズン・ズドンバ・ジン・ド・ドコ・ドシ・ドシン・ドタ・バ・バス・バシッ

9 弱く足で床を踏み鳴らす

- ①トン75 ②タン12 ③コン7 ④ドン5 ⑤ボン3 ⑥タッ・ト・ヒタ2
⑨ゴン・ソン・テッタン・ドシッ・ドッ・パタダス・ペシヤ

10 声を発する

- ①ア84 ②ワ10 ③オ5 ④ラ4 ⑤マ3 ⑥ウ2 ⑦エ・カ・ゲ・ナ・ハ・ポ・ル1

※ボディアクションは伊達 博著「器楽アンサンブルの理論と実践」をもとに作成

- ②3 ③18 ④8 ⑤22 ⑥18 ⑦15 ⑧9 ⑨8 ⑩5 ⑪3 ⑫1 ⑬3 ⑭1 ⑮1

学生が見つけたボディアクションと音

頭

11 掌で叩く

- 27 ①バシ4 ②トン・ボン・ボン3 ⑤カン・パフ2
⑦タン・テン・ドン・パッコン・パン・バン・ベシ・ベシン・ペン・ボス・ボン1

12 髪の毛を擦る

- 11 ①ガサ² 3 ②シャワ² 2 ③サキ²・サツ²・シャ²・シャラ²・シャリ²・ワシャ² 1

13 拳で叩く

- 9 ①ゴン3 ②コッ・コン2 ④ドス・ボン1

14 指先で叩く

- 2 トッ・コン1

15 中指と親指で弾く

- 2 コン・バサ1

16 掌で擦る

- 1 シャツ

「保育者養成における表現活動について(1)」

額				
17中指と親指で弾く(てびん)	15	①ピン5②コン3③コツン2④コツ・ゴツ・ピチペン・ペチ・ペチン1		
18掌で叩く	13	①ペチ3②コツン・ペシン2④カン・コツン・パン・ピチ・ペシ・ペチン1		
19人差指・中指の指先で叩く	3	テチ・ビタッ・ビッ1		
20拳で叩く	1	ズン		
鼻		顎		
21人差指で擦る	1	23中指と親指で弾く	3コッ・プルン・ココン1	
22息を出す	1	フン	24手の甲で擦る	1ススー1
耳				
25指先で叩く	2	カッ・ピュン1		
26人差指・親指で弾く	1	シュッ1		
頬				
27掌で叩く	49	①ペチ10②ピン・ペチン6④ピチ5⑤パシ・ピシャ・ペン3 ⑧パチ・パン・ベシ2⑩パチン・ピシ・ペ・ペタ・ペチン・ポタ・ポツン1		
28中指と親指で弾く	9	①トン・ペン2③パチン・ピ・ピン・ペタ・ペチ1		
29掌で弱く叩く	9	①パシ・ペチ2③ツン・パン・ペン・ポスン・ポッ1		
30掌で擦る	8	サワ ² ・シシヨ ² ・シャワ ² ・シュ ² ・シュリ ² ・シュン・ショリ ² ・スリ ² 1		
31頬を膨らませ、掌で叩く	9	①ボン4②プッ・ブッ・ポコン・ポッ・ポフ1		
32中指と親指で膨らませ、頬を弾く	9	①ボン4②ポコ3③トン・ポッ1		
33膨らませた頬から空気を 出しながら掌で叩く	3	①プッ2②ポ1		
34人差指・中指の指先で叩く	3	トン・ペッ・ペン		
舌(2種類)	17	(その他2)		
35舌打ちする	12	①チッ6②トン2③コロッ・タン・パヤ・ロッ1		
36巻いた舌を鳴らす	5	カロッ・カン・コロ・コン・トッ1		
歯(2種類)	28	(叩く10・その他18)		
37噛み合わせる	18	①カチ8②カッ・コッ2④カチン・コチン・コッカッ・コン・タッ・チャ1		
38人差指の指先で叩く	10	①カッ4②カチ2③カン・コン・タッ・トン・1		
口(6種類)	29	(叩く12・弾く5・その他12)		
39掌で開けた口を叩く	12	①ボン5②ポッ・ポワ2④コッ・ポワン・ボン1		
40唇を震わす	6	①ブルブル2②ブー・プッ・プルル・ルル1		
41人差指で下唇を弾く	5	①プルン2②パッ・パピオン・ボン1		
42息を強く吐く	3	フー3		
43人差指を口から抜く	2	ポッ・プル1		
44息を弱く吐く	1	スー1		
首				
45掌で首筋を叩く	1	ペシ1		
46人差指・中指の指先で叩く	1	コン1		
47掌で擦る	1	シュワ ² 1		
48人差指・親指で首筋を弾く	1	コン1		
49回す	1	グコ1		
50後ろを叩く	1	ゴン1		
肩				
51掌で叩く	23	①トン10②タン・パン4④ダン・パスン・ピン・ペチ・ボン1		
52拳で叩く	4	①トン3②ゴン1		
53人差指・中指で叩く	4	タン・ドス・トン・ポスン1		
54人差指・中指の指先で叩く	1	コン1		
背中		鎖骨		
55掌で叩く	6	①ドン2②ダッ・パン・パン・ボン1	57手のひらで叩く	3①ドッ2②カタ1
56拳で背中を叩く	1	ボン1	58人差指・中指で叩く	2トス・トン1
胸				
59掌で叩く	10	①ドン5②ドス・パン・パン・ペン・ポスン1		
60拳で叩く	4	ドコン・ドン・ボン・パン1		
腕				
61掌で叩く	10	①ピチ2②トン・パスン・パチン・パン・ペチ・ペチン・ペン・ポチン1		
62人差指・中指で叩く	8	①ペチ3②トン・パチッ・ペン・ピシ・ポス1		
63掌で擦る	8	①シュー ² ・シュワ ² 2③シャ ² ・シャカ ² ・スリ ² ・スル ² 1		
64摘んで離す	2	パシュ・スイッチョン1		
65両腕を合わせる	1	トン1		
66両腕を擦る	1	スッ ² 1		
67人差指・中指で弾く	1	パン1		

多保田 治 江 田 辺 圭 子

- 68 脇腹にぶつける 1 ペフン1
 69 人差指で擦る 1 シュー1
 70 口をあて息を吐く 1 フー1
 肘
 71 掌で肘を叩く 4 ゴ・コン・パチ・ポス1
 72 肘と肘を合わせる 3 ①コン2 ②ゴン1
 73 掌で肘を擦る 2 サワ² シュク² 1
 手
 74 爪と爪を合わせる 3 7 ①カチ1 1 ②カッ6 ③カリ・コン・チッ2
 ⑥カッ・カチャ・カラ・カン・シャク・ジャカ・タツ・ツン・テッ・ド
 トコテン・パチ・ピッ・プン1
 75 人差指と親指の爪を弾く 1 パチ
 76 人差指で人差指を叩く 1 5 ①ピチ4 ②カツ・トン2 ④ティン・コツ・チャリ・ト・ピン・ペシ・ポッ1
 77 人差指・親指を擦る 5 シク²・シッ²・スリ²・パラ²・ピチ² 1
 78 小指で小指を叩く 1 トン
 79 薬指で薬指を叩く 1 コチン
 80 中指で中指を叩く 1 ボチン
 81 親指で親指を叩く 1 カス
 82 中指と親指で指の関節を弾く 1 コツン
 83 2本指(人差指と中指)で叩く 9 ①テッ4 ②タン3 ③ペッ・ペン1
 84 拳で拳を叩く 1 3 ①コン3 ②ゴン2 ③コツ・ゴッ・タン・チョ・ドッ・トッテッ・トン・ドン1
 85 両拳を合わせる 4 サッ・パコ・パコン・ポッ1
 86 両拳を擦る 1 シャリ²
 87 人差指・中指で掌を弾く 1 2 ①ピシ3 ②コツ・タン・パシ・パチン・パッ・ピチ・ピッ・ペチ・ポッ1
 88 拳で掌を叩く 4 ①カ² ②コッ・テン1
 89 掌を握る 3 クシュン・シューワ・チュンワン1
 90 両掌に空気を入るようして叩く 3 ボワン・ブウ²・プッ1
 91 小指で掌を叩く 1 トン
 92 薬指で掌を叩く 1 トチン
 93 中指で掌を叩く 1 ペチン
 94 人差指で掌を叩く 1 ペン
 95 拳で掌を擦る 1 スス
 96 5本全部の指で掌を弾く 1 ピラ
 97 握った掌を開く 1 シュパッ
 98 掌で手の甲を叩く 1 3 ①ペチ・パン2 ②チ・パッ・ビシ・ピタ・ピチ・ピチシュ・ペチン・
 ペン・ボン1
 99 手の甲で甲を叩く 1 2 ①ペン3 ②シャ2 ③テッ・パシャ・パチン・ピン・ペシ・ペタン・ポカン1
 100 手の甲と甲を擦る 6 ①シャカ2 ②サ・スシュ・スン・シ1
 101 掌で手の甲を擦る 3 サ²・シュル²・シュ² 1
 102 人差指・中指で手の甲を叩く 2 トウ・ペ
 103 人差指・中指で手の甲を弾く 2 ピン・コボン1
 104 人差指・中指で手の甲を叩く 2 ピチ・ペン1
 105 手の甲に口をあて息を吐く 1 プー
 106 人差指・中指で手首を叩く 2 カチ・ペチ1
 107 手首と手首を擦る 1 カシャ²
 腹
 108 掌で叩く 4 0 ①ボン2 7 ②パン2・ボン2 ④ドス・パチン・パン・ペコッ・ペシ・ペチ
 ペチャ・ボコ・ボワン1
 109 人差指・中指で叩く 2 プン・ポッ1
 110 掌で擦る 1 スリ²
 腰
 111 掌で叩く 7 ①ドン2 ②ゴン・ド・バスン・ペシ・ボン1
 112 掌で弱く叩く 1 トン
 113 両手の指先で叩く 1 パン
 114 両手の指先で弾く 1 ボコ
 尻
 115 掌で叩く 3 3 ①ペン1 0 ②ボン6 ③パン・パン4 ⑤ボン2
 ⑥パチ・パチン・ピシャン・ピン・ペチャ・ボスッ・ボワン1

「保育者養成における表現活動について(1)」

股

116 掌で叩く	3 6①パン1 4②パン3③パッ・ボン2 ⑤タン・パチ・パチン・ピシ・ピシヤン・ピッチン・ピン・ペシ・ベチ・ペチ ペチャン・ペチン・ペッ・ポチン・ボン1
117 両股を合わせる	5①パン2②パシ・プチャッ・ポヨン1
118 掌で股の後部を叩く	4①ペン2②ピシヤ・ペタン1
119 掌で擦る	3カサ ² ・サ ² ・シャカ ² 1
120 拳で股を叩く	2ポッ・パッ1
121 人差指・中指で叩く	1ポチン
122 人差指・親指で弾く	3クッ・トン・ペン1
膝	
123 両膝を合わせる	8①ゴツ2②コッ・コン・シュ・スッ・バサ・ボン1
124 掌で擦る	2シュワ ² ・シュワシヤ
125 手の指先で膝を叩く	2トン・ピン
126 肘で膝を叩く	2ゴツ・ゴン
足	
127 拳で叩く	1タン
128 掌でふくらはぎを叩く	9①ペチ2②パチ・パン・ペン・ボシ・ボソ・ポチン・ポワン
129 掌でふくらはぎを擦る	2サ ² ・シュ ²
130 人差指・親指でふくらはぎを弾く	2ブルン2
131 拳でふくらはぎを叩く	1タブ
132 人差指・中指でふくらはぎを叩く	1ボスン
133 側面を合わせる	1パン
134 掌で脛を叩く	5①パン2②コッ・ベン・ボン
135 掌で脛を擦る	1シュワ ²
136 人差指・親指で足の爪を弾く	1ブン
137 人差指・親指で足の指を弾く	1トン
138 両足の指を擦り合わせる	1シュッペン
139 両足首を合わせる	2コン・パシン
140 足の裏で足首を叩く	1パン
141 踵を合わせる	1コン
142 拳で踵を叩く	1ゴン
143 足の裏を合わせ叩く	1 3①テン2・ドン2②ス・トン・パチ・パチ・パチン・ピン・ペチ・ペリ・ボコ1
144 足の裏を擦り合わせる	5①キュッ ² ・シャ ² 2②シュ ²
145 掌で足の裏を叩く	3コパン・パン・ペス1
146 掌で足の裏を擦る	3サラ ² ・シャカ ² ・シュリ ² 1
147 人差指・親指で足の裏を弾く	2スカ・ピッ1
床	
148 両足で床を蹴る	3①ドン2②ドシン1
149 爪先で床を叩く	3①トン2②ボン1
150 掌で床を強く叩く	3パン3
151 掌で床を弱く叩く	2タン・トン1
152 爪先で床を擦る	1キム ²
153 踵で床を蹴る	1ゴォン
154 片足で床を蹴る	1ドン

音の出し方として「叩く」が77(50%)と全体の半分を占める。

多保田 治 江 田 辺 圭 子

ボディアクション (指定回答10)

音を作る方法		音の出し方	回答数
手	6種類	叩く4・擦る1・その他1	115
床	2種類	その他2	115
口	1種類	その他1	115
膝	1種類	叩く1	115

学生が見つけたボディアクション (144)

	音を作る方法		音の出し方				回答数	回答数 順位
1	手	34種類	叩く18	擦る7	弾く5	その他4	163	1
2	足	21種類	叩く9	擦る3	弾く4	その他5	57	3
3	腕	10種類	叩く2	擦る3	弾く1	その他4	34	7
4	頬	8種類	叩く5	擦る1	弾く2	.	99	2
5	股	7種類	叩く4	擦る1	弾く1	その他1	54	4
	床	7種類	叩く3	擦る1	.	その他3	14	14
7	頭	6種類	叩く3	擦る2	弾く1	.	52	5
	口	6種類	叩く	1	弾く1	その他4	29	11
10	首	6種類	叩く3	擦る1	弾く1	その他1	6	20
	額	4種類	叩く3	.	弾く1	.	32	9
	肩	4種類	叩く4	.	.	.	32	9
	腰	4種類	叩く3	.	弾く1	.	10	17
	膝	4種類	叩く2	擦る1	.	その他1	14	14
14	肘	3種類	叩く1	擦る1	.	その他1	9	18
	腹	3種類	叩く2	擦る1	.	.	43	6
16	鼻	2種類	.	擦る1	.	その他1	2	24
	顎	2種類	.	擦る1	弾く1	.	4	22
	耳	2種類	叩く1	.	弾く1	.	3	23
	歯	2種類	叩く1	.	.	その他1	28	12
	舌	2種類	.	.	.	その他2	17	13
	背中	2種類	叩く2	.	.	.	7	19
	鎖骨	2種類	叩く2	.	.	.	5	21
	胸	2種類	叩く2	.	.	.	14	14
24	尻	1種類	叩く1	.	.	.	33	8
	計	144種類	叩く72	擦る25	弾く19	その他28	761	

合計 154種類 叩く77 擦る26 弾く19 その他32

「保育者養成における表現活動について(1)」

No.	回答数	見つけた音の数			
		叩く	擦る	弾く	その他
1	1 1 5	1 5			
2	1 1 5	2 3			
3	1 1 5	2 8			
4	1 1 5	3 9			
5	1 1 5	3 9			
6	1 1 5	4 9			
7	1 1 5	3 8			
8	1 1 5				2 1
9	1 1 5				1 5
10	1 1 5				1 3
11	2 7	1 7			
12	1 1		8		
13	9	5			
14	2	2			
15	2			2	
16	1		1		
17	1 5			8	
18	1 3	9			
19	3	3			
20	1	1			
21	1		1		
22	1				1
23	3			1	
24	1		1		
25	2	2			
26	1			1	
27	4 9	1 7			
28	9			7	
29	9	7			
30	8		8		
31	9	6			
32	9			4	
33	3	2			
34	3	3			
35	1 2				6
36	5				5
37	1 8				9
38	1 0	6			
39	1 2	6			
40	6				5
41	5			4	
42	3				1
43	2				2
44	1				1
45	1	1			
46	1	1			
47	1		1		
48	1			1	
49	1				1
50	1	1			
51	2 3	8			
52	4	2			
53	4	4			
54	1	1			
55	6	5			
56	1	1			
57	3	2			
58	2	2			
59	1 0	6			
60	4	4			

No.	回答数	見つけた音の数			
		叩く	擦る	弾く	その他
61	1 0	9			
62	8	6			
63	8		6		
64	2				2
65	1				1
66	1		1		
67	1			1	
68	1				1
69	1		1		
70	1				1
71	4	4			
72	3				2
73	2		2		
74	3 7				1 8
75	1			1	
76	1 5	1 0			
77	5		5		
78	1	1			
79	1	1			
80	1	1			
81	1	1			
82	1			1	
83	9	4			
84	1 3	1 0			
85	4				4
86	1		1		
87	1 2			1 0	
88	4	3			
89	3				3
90	3	3			
91	1	1			
92	1	1			
93	1	1			
94	1	1			
95	1		1		
96	1			1	
97	1				1
98	1 3	1 0			
99	1 2	9			
100	6		5		
101	3		3		
102	2	2			
103	2			2	
104	2	2			
105	1				1
106	2	2			
107	1		1		
108	4 0	1 2			
109	2	2			
110	1		1		
111	7	6			
112	1	1			
113	1	1			
114	1			1	
115	3 3	1 2			
116	3 6	1 9			
117	5				4
118	4	3			
119	3		3		
120	2	2			
121	1	1			

No.	回答数	見つけた音の数			
		叩く	擦る	弾く	その他
122	3			3	
123	8				7
124	2		2		
125	2	2			
126	2	2			
127	1	1			
128	9	8			
129	2	2			
130	2			2	
131	1	1			
132	1	1			
133	1				1
134	5	4			
135	1		1		
136	1			1	
137	1			1	
138	1				1
139	2				2
140	1	1			
141	1				1
142	1	1			
143	1 3	1 1			
144	5				3
145	3	3			
146	3		3		
147	2			2	
148	3				2
149	3	2			
150	3	3			
151	2	2			
152	1		1		
153	1				1
154	1				1

次に見つけた音を分析すると、学生が同じ回答をする固定したイメージを持つボディサウンドとそうでないボディサウンドがあることに気づいた。

指定回答

固定したイメージがあるボディアクション

No.	音	回答数	備考	2位回答
10	声を発する ア	84 (73%)	ワ	10 (7%)
1	両掌を高い位置で叩く パン	80 (70%)	バチ	7 (6%)
9	弱く足で床を踏み鳴らすトン	75 (65%)	タン	12 (10%)
8	強く足で床を踏み鳴らすドン	70 (61%)	ダン	17 (15%)

固定したイメージがないボディアクション

No.	音	回答数	備考	2位回答
5	両掌を擦る シャカ ²	15 (13%)	シュ ²	11 (10%)
7	掌で膝を叩く パン	19 (17%)	ペチ	11 (10%)
3	人差し指・中指の指先で 掌を叩く トン	26 (23%)	ペチ	21 (18%)
4	人差し指・中指で 掌を叩く ペン	26 (23%)	ペチ	15 (13%)
2	両掌を低い位置で叩く パン	28 (24%)	ポン	26 (23%)
6	中指と親指を擦り鳴らすパチン	34 (30%)	ピン	10 (7%)

「保育者養成における表現活動について(1)」

学生が見つけたボディアクション
固定したイメージがあるボディアクション

No	音	回答数	備考	2位回答
42	息を強く吐く	フ 3 (100%)	0	
130	人差し指・親指でふくらばきを弾く	ブルン 2 (100%)	0	
150	掌で床を強く叩く	パン 3 (100%)	0	
52	肩を拳で叩く	トン 3 (75%)	ゴン	1 (25%)
108	腹を掌で叩く	ボン 27 (68%)	パン・ボン	2 (5%)

固定したイメージがないボディアクション

No	音	回答数	備考	2位回答
30	頬を掌で擦る	シュ ² ・スリ ² など 1 (13%)	0	
11	頭を掌で叩く	パン 4 (15%)	トン・ボン・ポソ	3 (11%)
98	掌で手の甲を叩く	ペチ・パン 2 (15%)	チッパッなど	1 (8%)
143	足の裏を合わせ叩く	テン・ドン 2 (15%)	ス・トンなど	1 (8%)
27	頬を掌で叩く	ペチ 10 (20%)	パン・ボン	2 (5%)

指定回答10と各学生が見つけた音をもとにピアノッシモからフォルテッシモまで6段階ダイナミックスに並べることを課題とした。「音の発見」の蓄積から「音の比較」によって音への関心を深めるためである。

フォルテッシモの音の出し方が13種類見つけられたが、1位「強く足で床を踏み鳴らす」、2位「両掌を高い位置で叩く」を合わせると87(75%)となりこの2種類に回答が集中した。つまり、強い音はボディサウンドでは作りづらいので回答が集中したように思える。

1ボディアクション ダイナミックス pp→ff

pp (25種類)

No	音	回答数	備考
1	(トン14) (ポソ4) (タソ, トソ3) (テッ, ペソ2) (カチ, コッ, クッ, ツソソ, トチ, ビソ, フッ, ベッ)	4 3 6	2(シャワ ²) 3(タッ)
2	(ト9) (カッ6) (コソ5, トソ5) (ビソ2) (ビチ, ペソ, ポソ)	76 3 0	9(ヒカ) 11(ポソ)
3	(カサ ² , シュ ² 3) (シャリ ² 2) (サソ ² , サワ ² , シャカ ² , シャコ ² , シェル ² , リシャ ²)	5 1 4	37(コッ) 41(ブルソ)
4	(カチ4) (カラ) (コソ) (フ)	74 7	44(スー) 63(スリ ²)
5	(コッ) (コッ) (スッ) (ポソ)	24 4	83(ベッ) 101(シュ ²)
6	(トソ2) (ペ)	102 3	111(ベソ) 116(ポソ)
7	(ベソソ2)	6 2	119(シャカ ²) 128(ポソ)
	(ペソ, ポソ)	29 2	134(ペソ) 146(シュリ ²)
	(サソ ² , シュ ²)	129 2	

16

多保田 治 江 田 辺 圭 子

P

(34種類)

No.		
1	3 3 0	(ペ6) (テン, ベチ3) (タン, バチ, ビチ, ベン2) (テッ, トン, バシ, パン, ビシ, ビンヤ, ビチ, ビッ, ベキン, ボン)
2	5 1 3	(シャワ ² , シュリ ² , ショワ ²) (カサ ² , サ ² , サク ² , シャ ² , シャカ ² , シャラ ² , シュロ ²)
3	6 1 3	(カチッ, コソ, スリ, シュ, トソ, バコッ, バチ, バチン, ビチン, ビソ, フシ, ベシッ, ベリッ)
4	4 1 0	(トン5) (リ, タソ, テッ, トウ, バシ)
5	83 8	(テッ4) (タン3) (ペ)
6	7 3	(ベチャ, ペン, ボン)
	27 3	(ベチン2) (バチン, ペ)
	76 3	(ティン, ト, ホッ)
9	74 2	(テッ2)
	87 2	(コッ) (バチン)
	108 2	(ボン2)

2 (パッ)	12 (サ ²)
13 (コン)	17 (コソ)
21 (シュ)	28 (ベチ)
30 (シャワ)	32 (トン)
34 (ベッ)	37 (カチ)
38 (カッ)	39 (ボン)
41 (フルン)	61 (ビチ)
77 (シッ ²)	98 (チ)
104 (ビチ)	115 (パン)
123 (シュワ)	126 (コッ)
134 (コッ)	144 (シャ)
145 (ベス)	

23

pp	トン19 ト9 カッ6	(25種類)
p	ペ9 テッ8 トン8	(34種類)
mp	ペ12 パン11 ボン9	(32種類)
mf	パン32 ボン14 ペン8	(28種類)
f	パン35 トン14 ボン8 パン8	(17種類)
ff	トン40 パン36 タン6	(13種類)

mp ペ12 パン11 ボン9

(32種類)

1	3 3 0	(ベチ, ペン5) (ピン, ボン3) (タン, パン, ビシ, ビチ2) (トン, バシ, バチ, ベシ, ベチン, ベッ1)
2	5 1 1	(シャカ ² 4) (シュル ² 2) (サ ² , サリ ² , シャ ² , シャリショリ, フイヨ ²)
3	7 9	(タ, パン, ボン2) (ゴソ, ピチ, ペ)
	27 9	(ベチン3) (ペ2) (バチ, ビンヤ, ビチ, ホソソ)
5	1 6	(バチン2) (タン, ペン, パン, ビン1)
	6 6	(カッ, タン, パン, ビチ, ビ, ペン)
7	98 5	(パン, ビン, ベチ, ペン, ボン)
8	61 4	(トン, ビチ2)
9	31 3	(ホッ, ホフ, ボン)
	84 3	(ゴソ2) (トッテッ)
11	2 2	(バシ, パン1)
	9 2	(トン, コソ)
	10 2	(ラ, エ)
	37 2	(カッ) (コッ)
	71 2	(コン2)
	104 2	(ペ2)
	108 2	(ボン, ボン)
	116 2	(パン2)

4 (ベチ)	18 (ペン)
32 (ボン)	33 (フッ)
50 (ゴソ)	51 (タン)
74 (テッ)	76 (トン)
83 (ベッ)	87 (ビシ)
99 (シャ)	106 (ペ)
115 (パン)	134 (パン)

14

「保育者養成における表現活動について(1)」

m f パン32 ボン14 ベン8

(28種類)

1	1	25	(パン19) (バチ3) (バチン, ビン, ボン1)	5 (シャカ ²)	37 (コッカ ²)
2	7	14	(ベチン, ボン3) (タン2) (トン, バコ, バシ, パン, ビチ, ベン1)	39 (ボッ)	68 (ベフ)
3	116	13	(パン6) (ボン3) (タン, バチン, ビン, ビジャン1)	91 (トン)	99 (バチン)
4	2	10	(タン, ベチ, ボン2) (トン, バチ, ビッ, ベン1)	106 (カチ)	108 (ボン)
	98	10	(ボン6) (パン, ベン3)	115 (ボン)	128 (ベチ)
6	3	5	(パン2) (ベチ, ベン, ボン1)	151 (トン)	
7	9	4	(トン3) (ドン)		
8	10	3	(ア, ナ, マ1)		
	27	3	(ベン3)		
	62	3	(ビシッ) (バッ) (バチッ)		
	150	3	(パン3)		
12	6	2	(キヨロ) (ボン)		
	8	2	(ドン) (ドス)		
	11	2	(バフ) (ボン)		
	53	2	(タン, ドス1)		
	61	2	(ベチ) (パン)		
	84	2	(タン, タン1)		

11

f パン35 ドン14 ボン8 パン8

(17種類)

1	1	30	(パン21) (パン3) (バチ2) (バチン, ビチ, ベチン, ベン1)	6 (コキン)	
2	8	23	(ドン14) (タン2) (トン, スン, テン, ドス, トン, パス, パン1)	52 (トン)	
3	116	17	(パン5) (ボン4) (バツ3) (ボチン2) (タン, バチ, ビン1)	90 (フッ)	
4	7	14	(パン4) (パン3) (タン2) (バチ, ビン, ベン, ボン, ボン1)	59 (パン)	
5	115	8	(パン, パン, ベン, ボン2)	111 (ベシ)	
6	10	6	(ア- 6)	117 (パン)	
7	27	3	(バチン, ベチン, ベン1)		
	99	3	(ベン3)		
9	2	2	(ベン) (ボン)		
	108	2	(ボン2)		
	128	2	(バチ2)		

6

f f ドン40 パン36 タン6

(13種類)

1	8	51	(ドン36) (タン6) (パン4) (タワン, タン, ドスン, ドン, ドタ1)	84 (タン)	
2	1	36	(パン28) (バチ2) (バチン, ビン, ビジャン, ビパン, ビン, ベン1)	87 (ボッ)	
3	116	7	(パン5) (バッ, ベチン1)	90 (パン)	
4	148	6	(ドスン3) (ドン3)	108 (ボワン)	
5	10	5	(ア3) (ハ, ワ1)	134 (ボン)	
6	115	3	(パン2) (パン)	140 (パン)	
7	7	2	(タン) (ドン)		

6

V. お わ り に

今回は、「音楽と動きによる表現」の授業の試みと学生の作品作りに見られる授業の現状を通してその問題点を指摘した。つまり、「音楽と動きによる表現」に好みがあるということである。ブルーナー (J.S. Bruner) は子どもの身体活動による学習について1.行動、2.イメージ3.記号の3つの習得法を示している。体験学習の重要性を指摘していると思われるが、保育科の学生が子どもの表現に共感し応えることができる目を持つためには様々な側面から「音楽と動きによる表現」を試みる必要があるのではないだろうか。また、「保育科らしさ」の意識調査によって表現活動を円滑にする素地を持っていることが判明した。しかしながらカリキュラムにいかにかそれを生かすかが今後の課題と思われる。

引用・参考文献

- 1) J. Paynter・P. Aston “Sound and Silence—Classroom Projects in Creative Music—” Cambridge University Press, 1970, 山本文茂・坪能由紀子・橋都みどり「音楽の語る物原点からの創造的学習」, 音楽之友社, 1982, p75.
- 2) S. スティンソン著, 村山茂代, 石井美晴共訳, 「幼児のためのダンス」, 不昧堂出版, 1995, p11～14.
- 3) G. ディモンドシュタイン著, 加藤橋夫監, 穴迫洋子, 林信恵訳, 「子どものためのダンスの授業」, ベースボールマガジン社, 1981, p43～49.
- 4) 雨ヶ崎俊子編著, 「ダンスの授業」, 東洋館出版社, 1991, p22～23.
- 5) 前田他栄子, 大学教養課程のダンスについての一考察, 1991, 日本体育学会体育科教育専門分科会資料.